科目名	応用栄養学Ⅰ	科目分類	□基礎教育科目　■専門教育科目 □卒業必修 ■栄養士必修 □選択
英文表記	Applied Nutrition Ⅰ	開講年次	■１年 □２年
ナンバリング	NH131D	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	ひろた　ゆり	授業形態・修得単位	講義・２単位
担当教員名	廣田　由利	実施方法	■対面のみ　□遠隔のみ □対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	ライフステージ別の栄養を理解する		
授業概要	妊娠期から高齢期までのライフステージにおける心身の特性や栄養管理を理解し適切な食生活を実践するための基礎を学習する。		
到達目標	ライフステージ別の心身の特性や栄養状態の特徴を理解し食生活を考えることができる。		
授業時間外の学習	次回の授業範囲の予習・復習を行う		
履修条件	特に無し		

授業計画	
第１回	テーマ：「成長・発達・加齢」成長・発達・加齢の概念　加齢に伴う身体的・精神的変化と栄養
第２回	テーマ：「日本人の食事摂取基準の理解」食事摂取基準策定の基礎理論　食事摂取基準の活用
第３回	テーマ：「妊娠期」月経周期と妊娠の成立　胎児の成長　分娩と産褥
第４回	テーマ：「妊娠期」妊娠期病態疾患と栄養　栄養ケア
第５回	テーマ：「授乳期」乳汁分泌　授乳期の栄養ケア
第６回	テーマ：「新生児期・乳児期」生理的特徴　疾患　アレルギー　母乳栄養　人口栄養　離乳食　栄養ケア
第７回	テーマ：「幼児期」成長・発達　身体活動　生活習慣　う歯　偏食　栄養ケア
第８回	テーマ：「学童期」成長・発達　肥満　やせ　食の自己管理能力　学校給食　栄養ケア
第９回	テーマ：「思春期」第二次性徴　成長急伸　精神発達　摂食障害　肥満・やせ・貧血　朝食欠食　栄養ケア
第10回	テーマ：「成人期」青年期・壮年期・中年期の身体栄養学的特徴とケア　メタボリックシンドローム　特定健診
第11回	テーマ：「更年期」閉経期の特徴　身体の変化　更年期障害　骨粗鬆症　QOLの向上　栄養ケア
第12回	テーマ：「高齢期①」加齢に伴う諸機能の変化　脱水　咀嚼・嚥下機能低下　認知症
第13回	テーマ：「高齢期②」高齢者食事摂取基準　低栄養　サルコペニアからフレイル　　栄養ケア
第14回	テーマ：「運動スポーツと栄養」運動と栄養
第15回	テーマ：「環境と栄養」ストレス応答と栄養ケア
第16回	定期試験

テキスト	（編集）小切間美保ほか　ヴィジュアル栄養学テキスト　応用栄養学　　2026年2月　中山書店
参考文献・資料	適宜、資料を配布します。
成績評価の方法	出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。定期試験100%で評価します。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	1年生：金曜日16：20～17：50
受講生に望むこと・受講のルール	ポータルに載った資料を準備して臨むこと。